

呼吸する 山手線

住み慣れた都市のすき間に
深呼吸ができる新たな空間を見つけ、
出会いや日常の小さな発見をする。
その小さな積み重ねが
これからの幸せになりうるのではないだろうか。

山手線は都市の過密化の一因である一方で
軌道上は建物が積層しない緑の空間として、
都市の風の通り道となっている。

この密と疎の間隔を緩やかにつなぐ
“ガラスのゆらめくフェンス”を挿入する。

“ガラスのゆらめくフェンス”は、
都会の喧騒を音色に変え、街の風景を彩り、
機密的な箱から飛び出した
私たちの日常を、少しだけ幸せにする。

Detail : ガラスのゆらめくフェンス

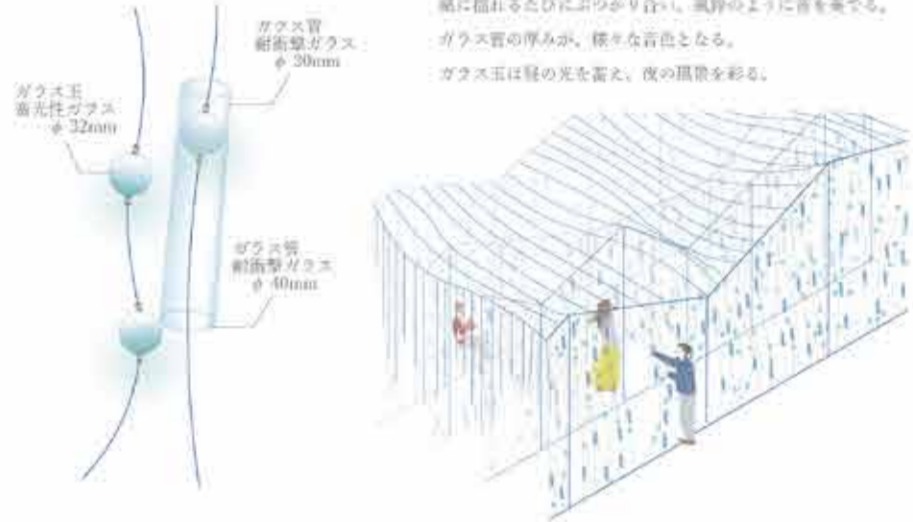


Diagram : 山手線沿いにある幸せ

1. 山手線を取り巻く密と疎

過密化する都市と、軌道上の
大きなボイド。
そこには都市が息をしているような、
風の通り道が存在する。



2. フェンスの置き換え

建物や地形に沿わせながら、
密(=都市)と疎(=山手線)を
隔てるフェンスを置き換え、
境界をなくしていく。



3. 小さな幸せを発見する場

“ガラスのゆらめくフェンス”により
風や音、新しい風景が彩られ、
人びとは思い思いに過ごし、
深呼吸する。

